

# 味覚に関する研究 — 青春期女子の甘味嗜好者・塩味嗜好者間の甘・塩味感受閾値の比較 —

岡山県立短大 ○田口田鶴子 岡山大教育 小野謙二

**目的** 先報で、青春期女子の甘味嗜好者（甘党）が酸味に敏感であるに対し、甘味には鈍感であること、また酸味嗜好者（酸党）ではこれとは逆に、甘味に敏、酸味に鈍であることを証した。そこで、このような関係が甘党・塩味嗜好者（塩党）間でも甘・塩味感受性の上で成文するか否かを調べた。

**方法** 女子短大生 100 名を嗜好調査に基づく「嗜好指数」により、甘党、塩党に区分し、両群の甘味・塩味感受閾値検査を実施して両者を比較した。なお、甘—酸比上の甘党、酸党においても、上記の甘・塩味覚につき検討した。

- 結果**
- (1) 甘—塩比による甘党は、塩味閾値において敏、塩党は逆に鈍であった。
  - (2) これに反して、甘党は、甘味閾値においては鈍、塩党は逆に敏であった。
  - (3) また、甘—酸比における甘党でも、同様に、塩味閾値で敏、酸党では鈍であった。
  - (4) すなわち、ある食味への嗜好者は、その食味に対し鈍感であるに反し、その食味の対立味に対しては、逆に敏感であること、および甘味に対して、塩・酸味はともに対立味となること、が判明した。